

問1 東北地方の夏の気温分布を調べた統計資料において、8月の月平均気温を比較すると、太平洋側の都市よりも日本海側の都市の方が高くなる傾向が見られます。この要因の一つとして、太平洋側から吹く冷たく湿った風が奥羽山脈を越える際、日本海側へ乾燥した高温の風となって吹き下ろすことが挙げられます。この現象を何と呼びますか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)

1. 季節風 2. やませ 3. フェーン現象 4. 上昇気流

問2 東北地方の各県における農業統計に基づき、土地利用や生産状況について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、宮城県の総面積に対する耕地面積の割合は約17.2%、青森県は約15.5%です。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 秋田県と山形県は東北を代表する米どころであり、この2県だけで東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。 2. 岩手県は、広大な土地を活かした畜産業が極めて盛んであり、県全体の農業産出額の7割以上を畜産が占めている。 3. 青森県は東北地方で最も総面積が大きいので、山地が多いにもかかわらず耕地面積の割合も東北6県で最大である。 4. 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。

問3 東北地方に位置する宮城県と岩手県の産業や特徴について説明した文として、正しいものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)

1. 宮城県は県庁所在地の仙台市を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が盛んであり、岩手県は南部鉄器などの伝統的工芸品で知られている。 2. 宮城県は南部鉄器の生産が伝統的に盛んであり、岩手県は仙台平野を中心に「ひとめぼれ」などのブランド米の栽培が集中している。 3. 宮城県は東北地方の日本海側に位置して最上川の稲作が盛んであり、岩手県は日本地図で宮城県の南側に隣接している。 4. 宮城県はリンゴの生産量が全国第1位であり、岩手県は県庁所在地の秋田市を中心に「あきたごまち」の生産が行われている。

問4 岩手県の伝統的工芸品である南部鉄器について、その生産地や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

1. 盛岡市や奥州市で生産され、鉄瓶や茶道具などの日用品として広く知られている。 2. 会津若松市で生産され、金粉や銀粉で装飾を施す蒔絵の技法が有名である。 3. 弘前市を中心に生産され、何層にも塗り重ねられた漆の模様が特徴である。 4. 天童市で生産され、良質なツゲの木を加工して作られる駒が全国的なシェアを誇る。

問5 東北地方の秋田県で行われ、長い竿に多数の提灯を吊るして自在に操る伝統行事について、この提灯は何に見立てられており、どのような願いが込められていますか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 提灯を雨雲に見立てて、雨乞いを祈る 2. 提灯を魚の網に見立てて、大漁を祈る 3. 提灯を魔除けの火に見立てて、無病息災を祈る 4. 提灯を米俵に見立てて、稲の豊作を祈る

問6 鉄道などの交通網の整備により、東京、新潟、秋田といった各地から東北地方の主要都市への移動時間が短縮され、広域からのアクセス性が向上しています。この状況が東北地方の観光に与えている影響について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2026年 群馬県公立入試 類似)

1. 鉄道網の整備はビジネス客の増加のみに寄与しており、観光客数に依存する伝統行事の運営には影響を与えていない 2. アクセスの向上により、仙台七夕まつりや青森ねぶたまつりなどの伝統行事に全国から多くの観光客が訪れるようになっている 3. 移動時間が短縮された結果、通過地点となる都市が増えたため、各地域の伝統行事への参加者数は減少傾向にある 4. 観光客の増加は認められるものの、伝統行事は地元住民のみで実施されるため、経済的な振興には結びついていない

問7 東北地方の中央部を南北に貫く山脈の周辺には、地下の熱エネルギーを利用した発電所が複数立地しています。この地域で見られる山脈の名称と、行われている発電方式の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

1. 飛騨山脈と火力発電 2. 奥羽山脈と地熱発電 3. 奥羽山脈と水力発電 4. 飛騨山脈と地熱発電

問8 山形県の北西部に位置し、最上川の堆積作用によって形成された庄内平野は、日本有数の穀倉地帯として知られています。この地域において、自然環境を活かして盛んに行われている農業はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)

1. 周囲の山々からの豊かな雪解け水を利用した大規模な稲作 2. 一年を通じて高温多湿な環境を必要とするサトウキビの栽培 3. 冬でも温暖な気候を活かしたピニールハウスでのみかんの栽培 4. 涼しい気候を活かして夏に出荷する高原キャベツの栽培

問9 東北地方の夏において、冷たく湿った北東風が吹き込み、奥羽山脈の東側で霧や低い雲が発生して低温や日照不足が続くことがあります。このような気象条件によって、米などの農作物の生育が妨げられる被害を何といいますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 塩害 2. 冷害 3. 干害 4. 公害

問10 東北地方の諸地域における伝統文化は、その土地の産業や自然環境と深く結びついています。秋田県で行われる「秋田竿燈まつり」において、高く掲げられる提灯の列が「稲穂」を象徴していると考えられる理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

1. 日本海側特有の強い風を鎮めることで、稲が倒れる被害を防ぐことを祈願するため 2. 地域の主要産業である稲作において、米が順調に育ち、豊作になることを祈願するため 3. 奥羽山脈から流れる豊富な水を確保し、水田に水が行き渡るよう雨乞いをするため 4. 冬の間の豪雪によって閉ざされていた農作業が再開されることを祝うため

問11 東北地方の各県の位置関係や産業的特徴について述べた次の文のうち、宮城県と岩手県に関する記述として適切なものを選びなさい。 (2019年 長野県公立入試 類似)

1. 岩手県は宮城県の南側に位置し、県庁所在地の仙台市は東北地方の政治・経済の中心地となっている。 2. 岩手県は宮城県の北側に位置する広大な面積を持つ県であり、伝統的な金属工芸品が受け継がれている。 3. 宮城県は東北地方の北端に位置し、青函トンネルを通じて北海道と結ばれる交通の要所である。 4. 宮城県と岩手県はともに日本海側に面しており、冬の季節風の影響で積雪量が非常に多いのが特徴である。

問12 東北新幹線が福島県内を通り、首都圏と結ばれていることによる地理的な影響として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)

1. 首都圏との往来が容易になり、観光客の増加やビジネスの効率化が進んだ。 2. リニア中央新幹線の導入により、名古屋や大阪への移動時間が大幅に短縮された。 3. 太平洋側の海上交通が廃止され、すべての物流が鉄道輸送に切り替わった。 4. 日本海側の各都市と最短距離で結ばれ、北陸地方との交流が最も盛んになった。

問13 東北地方の内陸部において、1月の平均気温が氷点下になるほど冬の寒さが厳しくなる一方で、夏から秋にかけて降水量が多くなる主な理由として、地形と季節風の関係から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)

1. 冬は暖流である日本海流の影響を強く受けるが、夏は寒流の親潮(千島海流)が南下してきて冷たい雨を降らせるため。 2. 冬は冷たい北西の季節風が奥羽山脈などの山々に遮られるため乾燥して冷え込み、夏は太平洋側からの湿った風の影響を受けるため。 3. 冬はシベリア高気圧から吹き出す季節風が日本海で湿気を蓄え、奥羽山脈にぶつかって内陸部に大量の雪を降らせるため。 4. 周囲を高い山々に囲まれた盆地であるため、一年を通して季節風が入り込まず、夏は極端に乾燥し冬は放射冷却で冷え込むため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 フェーン現象	東北地方の夏は、オホーツク海高気圧から冷涼な「やませ」が太平洋側に吹き込みますが、この風が奥羽山脈を越える際にフェーン現象が発生し、日本海側の気温を上昇させます。その結果、山脈を隔てた日本海側と太平洋側では、同じ東北地方であっても夏期の気温分布に明確な差が生じます。
問2	答え 4 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。	土地利用の状況を示す指標として「総面積に対する耕地面積の割合」があります。宮城県は仙台平野という米づくりに適した平野部を持つため、この割合が約17.2%となっており、面積の大きい青森県（約15.5%）よりも高い比率で土地が耕作に利用されています。岩手県の畜産や秋田・山形の米の生産割合については、統計上そこまで極端な集中（7割超や2県で過半数など）は見られません。
問3	答え 1 宮城県は県庁所在地の仙台市を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が盛んであり、岩手県は南部鉄器などの伝統的工芸品で知られている。	宮城県は東北地方最大の都市である仙台市を抱え、仙台平野を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が非常に盛んです。一方、岩手県は宮城県の北側に位置しており、盛岡市や奥州市などを中心に生産される「南部鉄器」が伝統的工芸品として全国的に有名です。選択肢にあるリンゴの生産1位は青森県、秋田市やあきたこまちは秋田県の説明です。また、最上川は山形県を流れる河川であり、宮城県と岩手県はいずれも太平洋側に位置しています。
問4	答え 1 盛岡市や奥州市で生産され、鉄瓶や茶道具などの日用品として広く知られている。	岩手県の盛岡市と奥州市は古くから鋳物産業が盛んな地域であり、南部鉄器は鉄瓶や鍋などの実用的な道具として発展してきました。現在では、伝統的な黒色だけでなく、海外向けにカラフルな塗装を施したティーポットが生産されるなど、現代のニーズに合わせた工夫も行われています。
問5	答え 4 提灯を米俵に見立てて、稲の豊作を祈る	秋田竿燈まつりは、竿燈全体を稲穂に、吊るされた個々の提灯を米俵に見立てることで、五穀豊穡（特に稲の豊作）を祈願する伝統行事です。東北地方を代表する夏祭りの一つとして知られており、秋田県の地理的・文化的特色を象徴しています。
問6	答え 2 アクセスの向上により、仙台七夕まつりや青森ねぶたまつりなどの伝統行事に全国から多くの観光客が訪れるようになっている	資料上の鉄道アクセスの状況からもわかる通り、主要都市間の移動時間が短縮されたことで、東北地方の祭りは広域から観光客を呼び込むことが可能になっています。仙台七夕まつりや秋田竿燈まつり、青森ねぶたまつりなどが記録的な客数を維持できている背景には、こうした交通インフラの整備による集客力の向上と、それを利用した地域活性化の取り組みがあります。
問7	答え 2 奥羽山脈と地熱発電	東北地方の「背骨」とも呼ばれる奥羽山脈は、多くの火山が連なる火山帯に位置しています。この火山活動による熱源を利用して、地中から取り出した蒸気や熱水でタービンを回す「地熱発電」が盛んに行われています。飛騨山脈は中部地方（日本アルプス）に位置する山脈であるため、東北地方の説明としては誤りです。
問8	答え 1 周囲の山々からの豊かな雪解け水を利用した大規模な稲作	山形県北西部の庄内平野は、最上川が運んできた土砂が積もってきた肥沃な平野です。この地域は冬に積雪が多い日本海側の気候であり、春に山々から流れ出す豊かな「雪解け水」が農業用水として安定して確保できるため、古くから大規模な稲作が発展しました。現在は圃場整備が進み、大型機械を用いた効率的な米作りが行われています。
問9	答え 2 冷害	「やませ」が吹くと、奥羽山脈に風が遮られることで太平洋側の地域に霧や雲が停滞し、夏の気温が上昇しなくなります。稲の開花や結実の時期に気温が低い状態が続くことで、米が十分に実らない現象を冷害と呼びます。これに対抗するため、東北地方では低温に強い品種（耐冷性品種）の開発や、水田の水を深く張って稲の根元を保温するなどの対策が行われています。
問10	答え 2 地域の主要産業である稲作において、米が順調に育ち、豊作になることを祈願するため	秋田竿燈まつりの由来は、真夏の眠気や邪気を払う「ねぶり流し」とともに、秋の収穫に向けた「五穀豊穡」の祈りにあります。竿燈そのものが黄金色に輝く重たげな稲穂の形を模しており、農作物の順調な生育を願うという、農業が盛んな秋田県の地域特色が反映されています。
問11	答え 2 岩手県は宮城県の北側に位置する広大な面積を持つ県であり、伝統的な金属工芸品が受け継がれている。	日本地図において、岩手県は宮城県の北側に隣接しており、本州では最も広い面積を持つ県です。岩手県では南部鉄器に代表される金属工芸が伝統産業として根付いています。宮城県の仙台市は東北地方の地方中枢都市ですが、岩手県の南側ではなく北側に宮城県があるという説明は誤りです。また、北海道と結ばれる北端の県は青森県であり、宮城県と岩手県はいずれも太平洋側に位置するため、日本海側の気候特徴（冬の多雪）は当てはまりません。
問12	答え 1 首都圏との往来が容易になり、観光客の増加やビジネスの効率化が進んだ。	高速鉄道網の整備は、遠隔地間の移動時間を大幅に短縮させる「時間短縮効果」をもたらします。福島県の場合、東北新幹線によって東京などの首都圏と短時間で結ばれるため、観光振興や企業の事業展開において大きな利点となっています。他の選択肢にあるリニア中央新幹線や北陸方面との直接的な関わりは、東北新幹線の主な役割とは異なります。
問13	答え 2 冬は冷たい北西の季節風が奥羽山脈などの山々に遮られるため乾燥して冷え込み、夏は太平洋側からの湿った風の影響を受けるため。	東北地方の気候は、中央を南北に走る奥羽山脈によって日本海側と太平洋・内陸側に大きく二分されます。内陸の盆地や太平洋側では、冬は山脈が湿気を遮るため雪が少なくなりますが、その分晴天が多くなり放射冷却で気温が著しく低下します。逆に夏は、太平洋側からの湿った季節風や、梅雨、台風などの影響で、一年の中で最も降水量が多くなる傾向があります。